

事業名称	姫音祭（姫路ミュージック&ダンスフェス）
団体名・代表者	ひめじあかり実行委員会 代表 岡田 兼明
協働の相手方	文化国際課

目的	市民ボランティアが主体となって結集した実行委員会により音楽・ダンスイベントを企画運営し、幅広いジャンルの音楽の発表の機会をつくることで、音楽によるまちの活性化に繋げる。街なかのステージで観覧無料とすることで市民の目に触れやすくし音楽・ダンスを愉しむ機会を増やす。「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトの一環を担うことにより、姫路市の文化芸術の質の向上に寄与する事業として育てる。
内容	ミュージック部門 66 組、ストリートダンス部門 45 組、その他ダンス部門 9 組の出演により、特設箇所含む計 8 つの会場で観覧無料のステージを繰り広げた。 飲食出店（25 店舗）、スタンプラリー等、参加者が街歩きを楽しみながら出来るよう、駅からお城の周りの回遊性にも着目した企画も同時に展開した。
事業経過	6 月 26 日（水）「第 2 回姫音祭」実行委員会立ち上げ式 8 月 21 日（水）公式 WEB サイトオープン／ミュージック部門出演者先行募集開始 10 月 18 日（金）開催告知チラシ出来 11 月 24 日（日）第 2 回姫音祭開催 12 月 10 日（火）反省会
事業の効果	出演者・観客数とも昨年の第 1 回を上回り、また姫路初の「ストリートピアノ」設置について、事前告知、事後の新聞・テレビ報道などで採り上げられた。特筆すべきとして、youtuber として著名な「よみい」「ゆゆうた」お二人の出演により、直後にネット上にアップされた関連動画の再生回数は 100 万回を超え、姫音祭、また「音楽のまち・ひめじ」事業の認知度向上により寄与する結果となった。
今後の展望	12 月 10 日に行った反省会では、各部署担当者から改善点・代案の提案も多く為され、実りの多いものとなった。この内容を踏まえ、次回開催にむけての確認事項として共有する。協賛・協力を頂いた各企業様への事業報告、また、実行委員会としての組織運営体制の見直しも、市民ボランティアが結集した団体としてはこまめに行っていくことが肝要である。

【実施団体の事業総括・感想等】

<p>街をステージとすることで、音楽・ダンスの発表の機会を設け、更に多くの市民の目に触れやすくするという当初の目的は大いに達成されたと考えられる。事後の反響も想定を超える大きな手応えが、特にネット上で強く感じられた。</p> <p>しかし毎年の継続事業として捉えると行政との連携のみならず、市民主体の実行委員会としての継続的な組織運営体制の確立が急務である。ひいては観光政策との両輪で考えられるような将来的なビジョンの策定まで含めて、実行委員会で担えるようになることが理想である。</p>
--

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

<p>出演団体やボランティアの数、音楽ジャンルの多様性、観客動員力、市内外への発信力などの点で前回は上回る成果を残し、音楽を通じた賑わいづくりと交流機会の創出に大きく寄与するものでした。テーマソングの作成や姫路初のストリートピアノの設置など話題性のあるコンテンツを用意し、SNS やメディアの活用など効果的な情報発信で事業の認知度を高めたことは、来年以降の事業継続にもプラスになると思います。今後は組織面や資金面で持続可能な運営体制を確立し、「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトの一翼を担う事業に成長することを期待します。</p>
--